

徳山ダム建設事業に関する報告

平成16年12月14日

独立行政法人水資源機構 中部支社

目 次

．事業評価監視委員会での意見	1
．工程管理	2 ~ 4
．コスト縮減・事業費管理	5 ~ 8
1) コスト縮減	
2) 徳山ダム事業費管理検討会	
．環境保全対策について	9
．山林公有地化事業について	10
．集団移転地文殊地区の宅地地盤について ...	11
．情報公開	12 ~ 16

事業評価監視委員会での意見

- ・平成16年4月29日に開催された平成16年度第1回中部地方整備局事業評価監視委員会において、徳山ダム建設事業、横山ダム再開発事業について「継続」との方針が了承された。併せて、10項目の点に特に留意して事業を進めるよう意見が述べられている。
- ・また、10月7日に開催された第2回事業評価監視委員会では、2項目の意見が述べられている。

第1回事業評価監視委員会での意見

現地の状況や事業内容等、事業の実施状況について、年1～2回委員会に説明するとともに、情報公開に努めること。

環境対策については、モニタリング等により、その効果を確認し、情報公開に努めること。

コスト縮減に最善を尽くすこと。

揖斐川流域の治水安全度向上の緊急性に鑑み、徳山ダム建設事業及び横山ダム再開発事業ともに、所定の目標年度完成に最大限の努力を行うこと。

事業を進めるにあたっては、効率性のみでなく安全面にも充分配慮すること。

徳山ダムを有効に活用するため、導水路についてその効果及びコストを充分考慮して検討を進め、早期に具体化を図ること。

利水面については、異常渇水時も念頭に渇水対策容量の有効活用等、安全対策等にも配慮していく必要がある。

ダム計画取りやめに関する河川の整備についても、十分配慮すること。

地域の洪水災害に対する安全性、水の安定的確保については、広域的な視野でもって国の立場からも効果的な運用を考えていくことが必要。

大規模、長期事業を進めるにあたっては、事業の節目節目での情報公開、自治体等関係者との情報共有、共通認識の促進に努める必要がある。

第2回事業評価監視委員会での意見

公有地化に関しては、平成19年度の完成に向けて、岐阜県との調整を精力的に進めるとともに、関係者の理解を得るよう努めること。

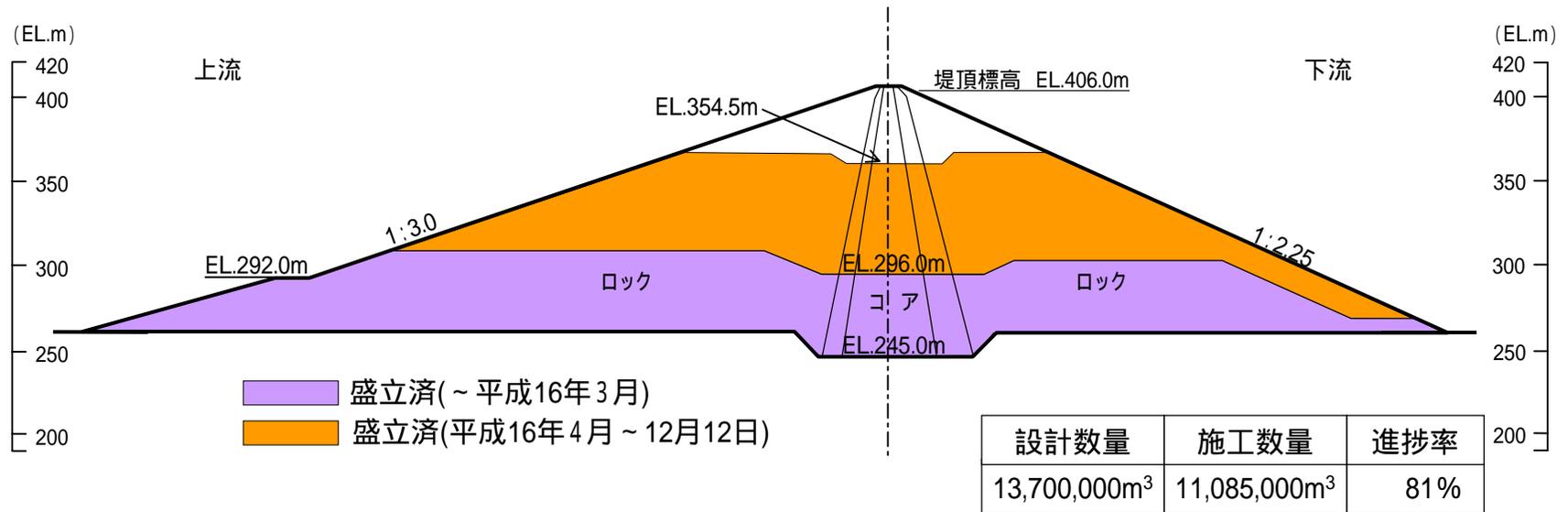
- 集団移転地文殊地区の地盤沈下に関しては、できるだけ早く検討を進めること。

. 工程管理

- 平成16年12月12日現在、堤体の盛立量は約1,109万m³（堤体積1,370万m³の81%）、盛立高さは109.5m（堤高161mの68%）、また、洪水吐きのコンクリート打設量は約21万m³（全体量22万m³の93%）に達している。
- 今後、平成18年秋から試験湛水を開始し、平成19年度完成の予定である。



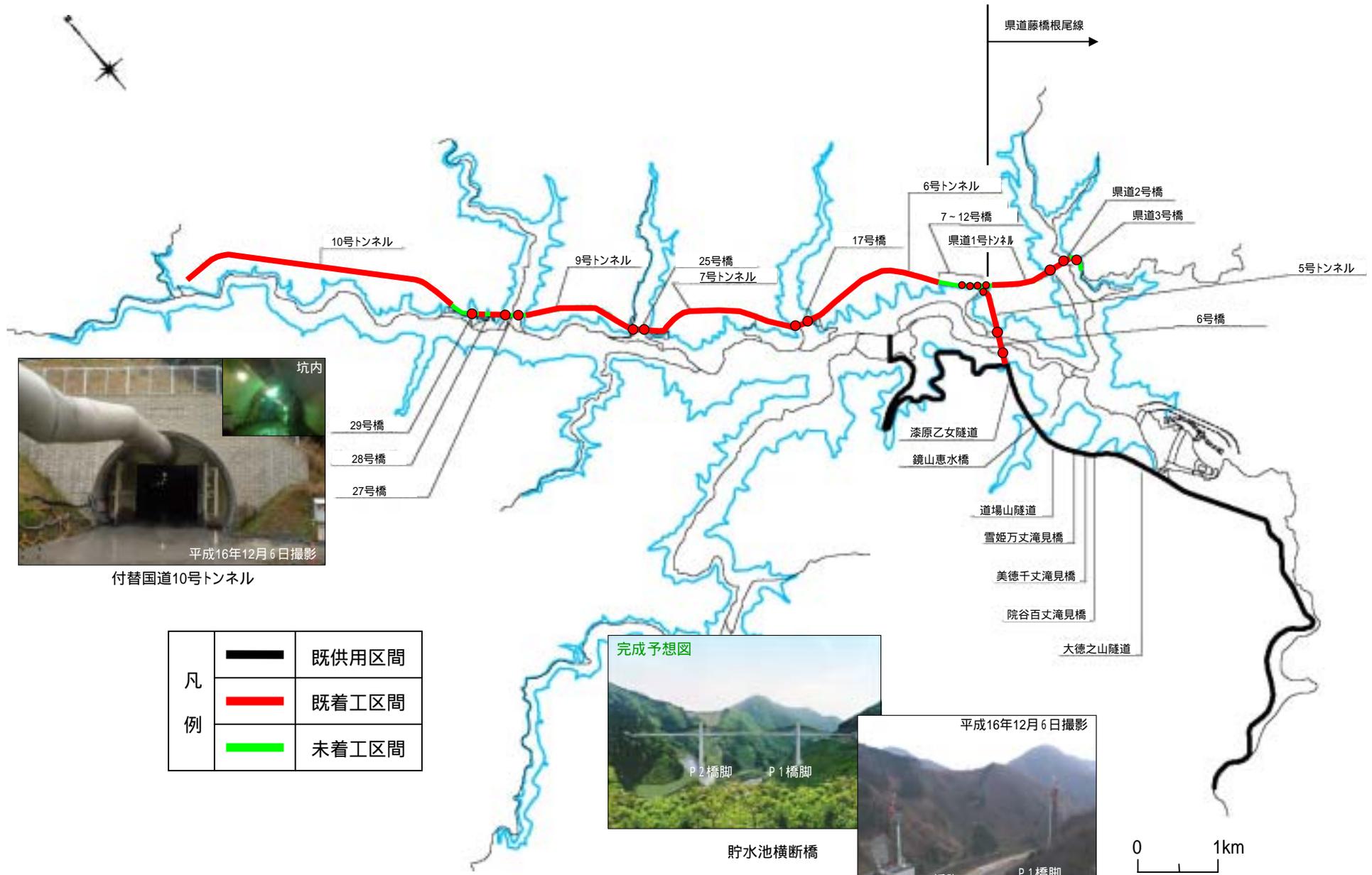
堤体盛立状況（平成16年12月12日現在）



洪水吐きコンクリート打設状況（平成16年12月12日現在）



付替国道・県道進捗状況（平成16年12月12日現在）



付替国道10号トンネル

凡例		既供用区間
		既着工区間
		未着工区間

コスト縮減・事業費管理

1) コスト縮減

コスト縮減委員会

- ・変更事業費3,500億円の算定にあたって縮減を図ることとした78億円のコスト縮減策の検討を行い、第2回徳山ダム建設事業コスト縮減委員会(平成16年9月28日)において、約80億円～約88億円の縮減が見込まれることを公表した。
- ・引き続き、さらなるコスト縮減策の継続した検討とコスト縮減策の実施状況のフォローアップを行っていくことも確認された。

第2回コスト縮減委員会以降も引き続き、ダム本体、管理設備、付替道路の各ワーキンググループにおいて、試験施工、既存データの解析等に基づく技術的な検討を継続し、設計の見直しなど徹底したコスト縮減策の検討を行っている。

なお、第2回コスト縮減委員会以降、ワーキンググループを7回開催している。(延べ23回開催)

ワーキンググループ開催状況

ワーキンググループ名	開催日	開催場所	実施内容	
ダム本体	第1回	平成16年4月23日(金)	徳山ダム建設現場	現地調査
	第2回	平成16年5月28日(金)	(財)ダム技術センター	コスト縮減策の検討
	第3回	平成16年6月8日(火)	(財)ダム技術センター	コスト縮減策の検討
	第4回	平成16年7月21日(水)	(財)ダム技術センター	コスト縮減策の検討
	第5回	平成16年8月10日(火)	(財)ダム技術センター	コスト縮減策の検討
	第6回	平成16年9月16日(木)	(財)ダム技術センター	コスト縮減策の検討
	第7回	平成16年11月11日(木)	(財)ダム技術センター	コスト縮減策の検討
	第8回	平成16年12月1日(水)	(財)ダム技術センター	コスト縮減策の検討
管理設備	第1回	平成16年4月23日(金)	徳山ダム建設現場	現地調査
	第2回	平成16年6月8日(火)	(財)ダム技術センター	コスト縮減策の検討
	第3回	平成16年7月21日(水)	(財)ダム技術センター	コスト縮減策の検討
	第4回	平成16年7月30日(金)	(財)ダム技術センター	コスト縮減策の検討
	第5回	平成16年9月17日(金)	(財)ダム技術センター	コスト縮減策の検討
	第6回	平成16年10月29日(金)	(財)ダム技術センター	コスト縮減策の検討
	第7回	平成16年11月18日(木)	徳山ダム建設現場	現地調査

ワーキンググループ名	開催日	開催場所	実施内容	
付替道路	第1回	平成16年5月8日(土)	徳山ダム建設現場	現地調査
	第2回	平成16年5月26日(水)	岐阜大学	コスト縮減策の検討
	第3回	平成16年6月8日(火)	岐阜大学	コスト縮減策の検討
	第4回	平成16年7月26日(月)	岐阜大学	コスト縮減策の検討
	第5回	平成16年8月30日(月)	岐阜大学	コスト縮減策の検討
	第6回	平成16年11月1日(月)	岐阜大学	コスト縮減策の検討
	第7回	平成16年11月17日(水)	徳山ダム建設現場	現地調査
	第8回	平成16年12月2日(木)	岐阜大学	コスト縮減策の検討

第2回コスト縮減委員会でのコスト縮減策の提案は、以下のとおり。

コスト縮減策	コスト縮減額
ワーキンググループにおいて検討を行った新技術・新工法の導入、 施工計画の見直し等によるコスト縮減（30項目）	約 42.3億円
工事、調査等の予定価格と入札価格との差額	約 33億～約 38億円
新たな契約方式（技術提案付価格合意方式）の導入によるコスト縮減	約 5億～約 7億円
計	約 80億～約 88億円

新たな契約方式等によるコスト縮減

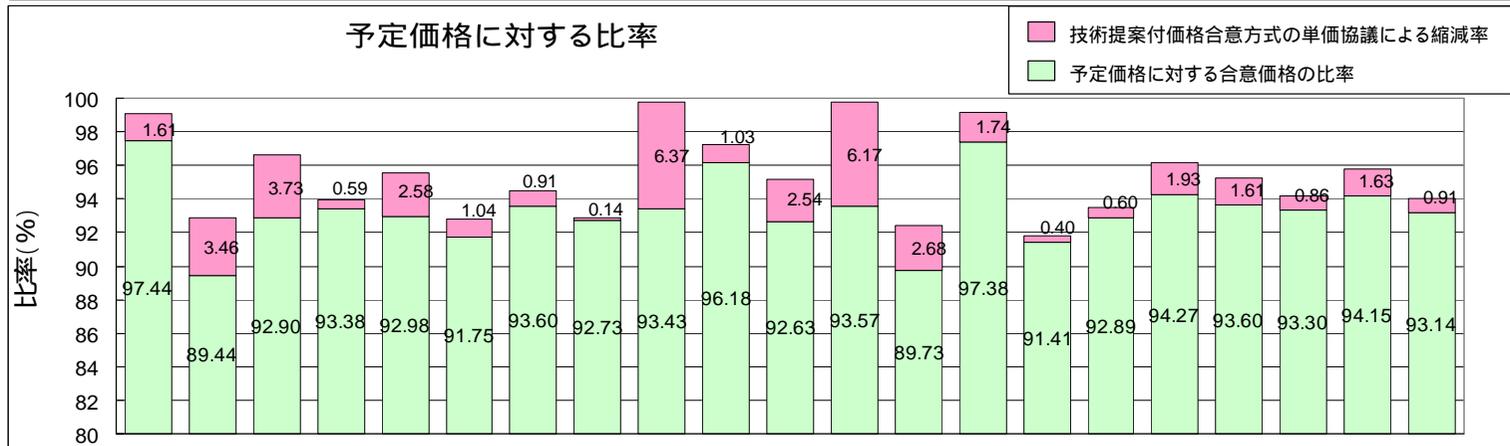
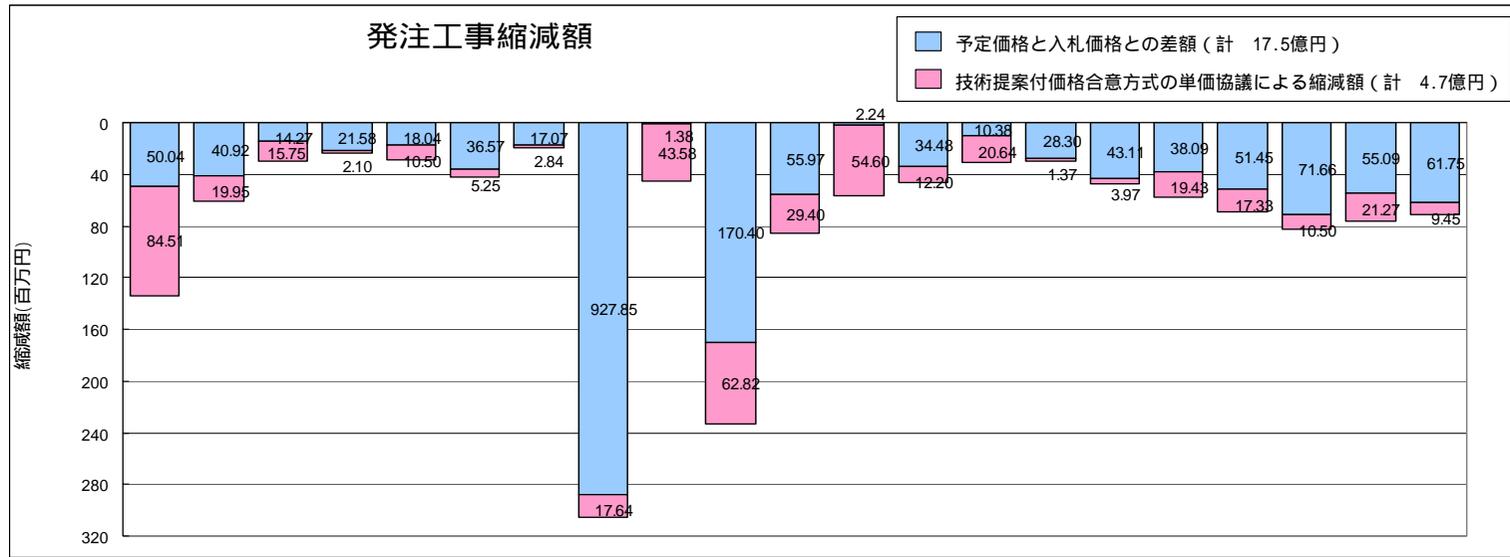
技術提案付価格合意方式の導入によるコスト縮減

- ・新たな契約方式として、国等の他機関に先がけて技術提案付価格合意方式を平成16年1月に試行導入し、12月13日までに21件の工事において技術提案付価格合意方式で契約を行っている。
- ・技術提案付価格合意方式は、公募型指名競争入札工事（発注規模が概ね3億円以上24億3千万円未満の工事）に加え、一般競争入札工事（発注規模が概ね24億3千万円以上の工事）にも試行導入している。
- ・試行導入以降、平成16年12月13日までに技術提案付価格合意方式による契約を行った21件の工事において、予定価格合計約380億円に対して合計84回の単価協議の結果、以下のコスト縮減が図られた。

項目	コスト縮減額（予定価格合計に対する縮減率）
予定価格と入札価格との差額	17.5億円（ 4.6% ）
技術提案付価格合意方式の単価協議による縮減額	4.7億円（ 1.2% ）
計	22.2億円（ 5.8% ）

（契約額には、付替道路工事の受託額を含む。）

平成16年12月13日現在の技術提案付価格合意方式による縮減実績（計21件）



堤(体変建設二期工事) 利放水・管水位低下工事 国橋道脚付替工 国橋道脚付替工 国橋道脚付替工 県工事付替(変更含む) 国水道ラ付区マ工事 堤体建設三期工事 国塚道奥山そのトンネル 洪水吐きその工事 国道の付替6号トンネル 国三軒屋そのトンネル 利水放流管設備工事 利ゲ水・水ト位低下工事 国下道付替7号工 国そ道の付替5号トンネル 国そ道の付替7号トンネル 県そ道の付替1号トンネル 国上道の付替工 県上道の付替工 国そ道の付替9号トンネル

2) 徳山ダム事業費管理検討会

事業の執行状況、さらなる縮減を含む事業費縮減の実施状況、業務執行上の課題について検討を行うことを目的として、中部地方整備局、岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市、水資源機構で構成される「徳山ダム事業費管理検討会」を平成16年6月22日に設置し、協議を進めている。

なお、検討会での協議に加え、事業の進捗状況や契約情報等を情報提供して、三県一市で事業費管理に関する情報の共有化を図っている。

第1回検討会（平成16年8月18日）の審議を受け、現在、同検討会幹事会で事業費管理の手法、事業執行上の課題である継続課題（山林公有地化、文殊地区地盤沈下対策部の跡地処理）等について協議中である。課題の整理を行い、早急に第2回事業費管理検討会を開催する予定。

事業費管理に関する情報提供・共有

- ・各工事の契約時等に工事内容、契約価格、コスト縮減額率等を随時情報提供。
- ・契約変更時の透明性を高めるために、国等にあわせ事務手続を変更したことを情報提供。

従来) 追加見込金額が**当該変更前**の請負代金の30%を超える工事は、現に施工中の工事と分離して施行することが著しく困難なものを除き、原則として別途契約



変更) 追加見込金額の累計が**当初契約**の請負代金の30%を超える工事は、現に施工中の工事と分離して施行することが著しく困難なものを除き、原則として別途契約

環境保全対策について

- ・徳山ダム環境保全対策委員会は、環境保全対策の計画的な実施にあたっての総合的な観点から指導・助言を行うことを目的に平成12年4月に設立し、現在までに10回開催している。
- ・同委員会からの指導・助言を受け、大型猛禽類等の環境保全対策やモニタリング調査等を実施している。

第10回委員会（平成16年9月22日開催）

（審議内容）

- ・事業の進捗状況、今後の工事計画について報告
- ・プロジェクトの実施状況報告、審議
- ・モニタリング調査実施状況報告、審議

記者発表の事例

平成15年～16年の繁殖期におけるワシタカ類モニタリング調査結果（平成16年9月22日発表）

（発表内容）

平成16年8月までの繁殖期においてクマタカ2つがい、オオタカ1つがいで幼鳥の巣立ちを確認。



・ 集団移転地文殊地区の宅地地盤について

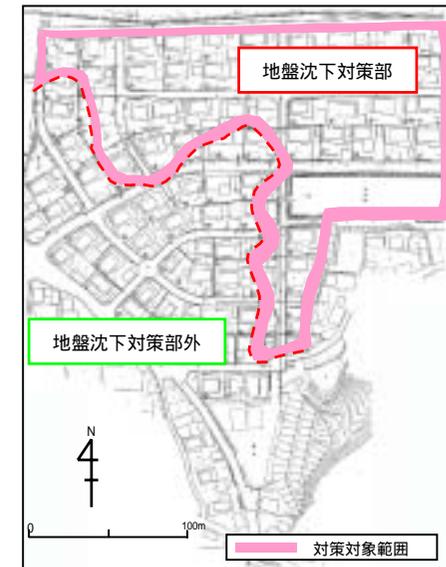
「集団移転地文殊地区の宅地地盤に関する検討会」において、既往の地質調査、動態観測結果等及び追加調査結果をもとに、技術的な検討を行い、集団移転地文殊地区の地盤沈下対策部外の宅地地盤としての評価を年内にとりまとめる予定である。

第3回集団移転地文殊地区の宅地地盤に関する検討会(平成16年10月5日開催)

- ・ 集団移転地文殊地区の地盤沈下対策部外の宅地地盤について、宅地地盤としての評価を行うにあたり必要となる集団移転地文殊地区の現地視察を行うとともに、追加調査の実施を決めた。

追加調査の実施

- ・ 調査期間：平成16年10月18日(月)～10月23日(土)
- ・ 調査内容：地盤沈下対策部外の家屋について、宅地地盤に接している基礎あるいは外壁下部のレベル測定を実施。



・情報公開

広く国民の方々に徳山ダム建設事業について理解を深めていただくため、中部支社、徳山ダム建設所のホームページの充実、ニュースリリース等の情報提供、一般者からのダム見学申し込みに対する職員全員での積極的な案内対応、イベントの実施などに努めている。

1) ホームページ



ホームページURL：
<http://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/>



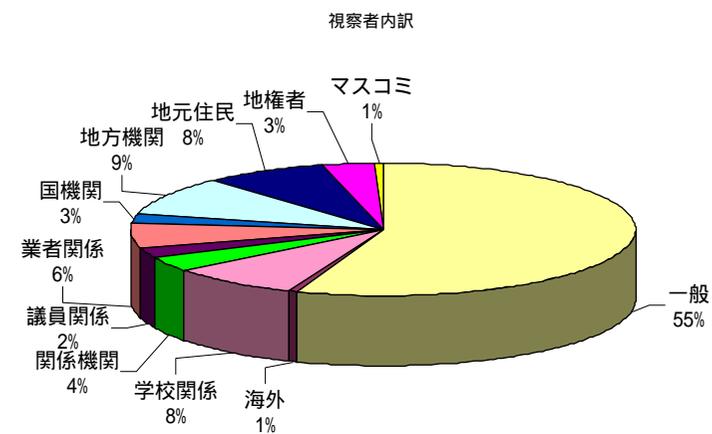
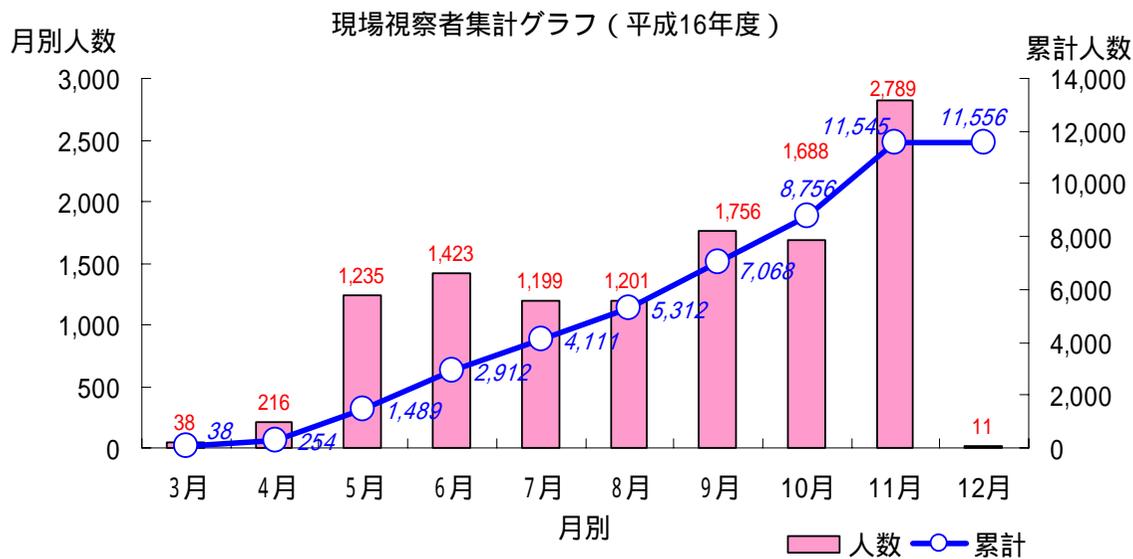
ホームページURL：
<http://www.water.go.jp/chubu/chubu/>

2) 記者発表等

平成16年度は、コスト縮減委員会や環境保全対策委員会などの委員会審議内容の報告、現地見学会等のイベント案内、環境調査結果の報告等について、現在までに計35回の記者会見、資料配付等を実施している。

3) 住民の方々による現地見学

- ・徳山ダムでは広く住民の方々により現地見学を呼びかけており、平成16年度は、12月13日までに約500組、11,556名の方々がダム工事現場を見学いただいている。
- ・見学案内は休日を含めて、徳山ダム建設所職員全員が案内を行っている。



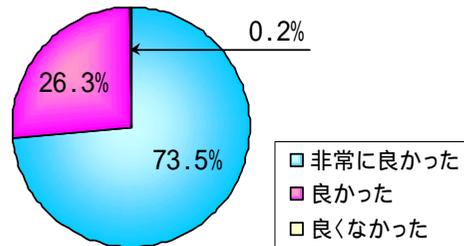
徳山ダム見学シャトルバス

- ・土曜日、日曜日、祝日に徳山ダム建設パビリオンを起点として、11時と13時にシャトルバスを運行し、徳山ダム建設所職員がガイドとなって工事現場を案内した。

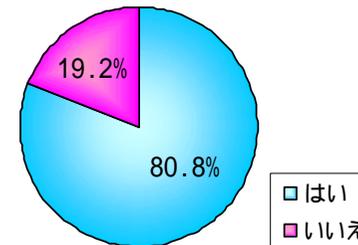
「工事見学の集い」

- ・揖斐川流域の各市町村単位に現場見学会と意見交換会を実施し、今年度は15回718名が参加された。
- ・また、今後の事業PRに反映させるため、アンケートを実施した。

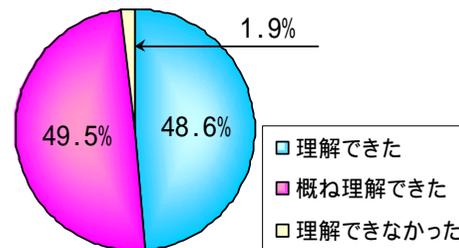
【Q1】今回の「徳山ダム工事見学の集い」に参加していかがでしたか。



【Q2】徳山ダム工事現場内の見学は初めてでしたか。



【Q3】説明の内容はいかがでしたか。



平成16年度徳山ダムの見学、視察の状況

見学、視察名	実施主体	参加対象	実施日	参加者数
徳山ダム工事 現場視察	・水資源機構 徳山ダム建設所	一般の方々（老人会、婦人会、 町内会、学校関係者、各種団体 等）	随時	7,885名
工事見学シャ トルバス	・水資源機構 徳山ダム建設所	一般の方々（当日パビリオンで 申し込み）	4月24日～11月28日ま での土曜日、日曜日、祝日	2,177名
工事見学の集 い	・国土交通省 中部地方整備局 ・水資源機構 中部支社	揖斐川流域市町村の住民の方々	5月19日～11月19日 の間に各流域市町村ごとに計 15回	718名
徳山ダム工事 見学会	・水資源機構 中部支社	愛知県、岐阜県、三重県の住 民の方々	5月25日～11月9日 の間の計6回	133名
走る県政バス	・岐阜県	岐阜県の親子等の方々	8月24日	48名
徳山ダム県民 視察団	・岐阜県	揖斐川流域の水防団・消防団、 自治会、商工会、婦人会、労働 団体、県・市町村議会、県・市 町村関係者	11月10日	140名
報道関係者現 地視察会	・水資源機構 徳山ダム建設所	報道関係者	6月25日	11名 (報道機関 7社参加)
徳山ダム湖底 ファミリーウ オーク2004	・水資源機構 徳山ダム建設所	一般の方々（インターネット等 で募集。新聞記事でも行事紹介 された）	11月21日	444名
（12月13日現在）合計 11,556名				

4) イベント

故郷と工事の進捗状況を見る会

(平成4年度から毎年実施)

- ・平成16年10月28日に開催。旧徳山村民の方々337名が参加。



堤体盛立面での記念行事

湖底ウォーキング

(平成15年度から実施)

- ・平成16年11月21日に実施。県内各地や愛知県、滋賀県から親子連れなど444名が参加。



ロック盛立面で記念撮影